

6/28 宇都宮市民芸術祭／合唱フェスが終わった後、入団して一年になる池田さん／T 2に投稿を依頼したところ『above beginner's impression』と題した演奏の感想（文章中のカッコ内は本人評価）が寄せられました。

1. 曲感：2曲とも歌いやすい。
2. 曲想：表現できたかといえば不十分（A-）
3. 暗譜：「雨後」はOK。「君は今でも」は歌詞が長いこと、フレーズが似通っていることから完璧とは言い切れず。残念ながら記憶力の減退は否めないところ。（A-）
4. 口の開き：縦に大きくは意識したつもり。（A）
5. 母音：気を付けたが余裕なく、結果不十分。（B+）
6. 強弱：fとpは一番気を付けた。逆になると洒落にもならないので。（A）
7. 目線：曲間で2階方向へ目線を向けているのは、ライトが眩しく少々きつかった。（A-）

以上 甘く自己評点して“A-”

後日、「君は今でも」の心象（私見）について追加投稿がありましたので紹介します。

秋元康氏は1000曲単位の膨大な作詞をしていますが、彼の信条、人生観、作詞観からして、逝ってしまったかつての恋人にいまだ“恋々と執着する”という詩作は皆無だと思えます。

彼の詩作の keyword は「片思い」（注：出典不詳）と「前向きに生きる」ではないでしょうか。この登場人物もミリオンセラー「川の流れのように」と同じく、「終わりのない道 夢探しながら」前向きに生きているのです。

儂さと未来志向が混然としたメッセージ性が永きに亘って世代を超えた大きな支持を得てきたのだと理解しております。

（蛇足：HP担当）

団員間でこのような話題が話し合われていることを知り誇らしく感じました。